令和８年４月１日

令和８年度

立川市立第一小学校　学校経営計画

校長　菊池　修

はじめに

地域の学校としての「第一小学校」を充実させ、児童に「わかった・できた」を実感させていく教育活動を展開していく。自分の考えをもつための学ぶ意欲、自己の課題を明確にし、自分の方法で解決する力、地域を愛し、地域に貢献しようとする態度、他者と協働し自分を大切にし、他者を思いやる心を育成していくことを目標に第一小学校の教育活動を進めていく。

教育指導の中では、個別最適な学びと協働的な学びを常に意識し、一人一人のよさを認め、互いに学び合う学習環境を整え、主体的に学習に取り組む態度と思考力・判断力・表現力の向上に資する力とする課題解決力を育成していく。

さらに、保護者、地域、関係機関と連携・協働しながら、地域を学ぶ学習活動も取り入れながら、達成感・成就感を味わうことができる学習支援、安心・安全な学習環境づくりを進め、心豊かに生き生きと学ぶ児童を育成していく。

１　学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、自主性と創造性に満ちた人間性豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

○自分で考え　行動する子

◎心豊かで　思いやりのある子　※本年度重点目標

○体をきたえ　元気な子

２　学校経営の基本理念

すべての児童が心豊かに生き生きと学び、安心・安全で信頼される学校であり続けるよう、全教職員が児童一人一人のよさを認め、生かし、確かな指導力をもって児童の生きる力を育む学校経営を進める。

コミュニティスクールの仕組みを生かし、教職員・保護者・地域の連携・協働体制を進め、地域人材や地域資源を生かした豊かなふれあい、確かな児童理解、児童が「わかった」「できた」という指導を徹底する。そして児童の健やかな成長に向けて、知恵や力を出し合い、愛着と誇りのもてる学校をつくる。

「安心・安全で喜びを味わうことができる学校」

○教職員一人一人がよさを発揮できる、組織としての一小体制の強化

○豊かなふれあい、確かな児童理解、どの子にも分かる指導の徹底

○保護者、地域の教育力を生かした教育活動の充実

３　目指す学校像

学校教育目標を達成するため、コミュニティ・スクールの仕組みの中で家庭・地域との連携を図りながら、学校外の教育力を効果的に活用し、より質の高い教育活動が全教職員の意図的、計画的、組織的な取組により、効率的、効果的に展開される学校を目指す。

○児童にとっての「わかった」「できた」という喜びを大切にする学校
○自分や周りの人を大切にし、心の健康と体の健康を育む学校
○児童にとっての安全を確保し安心して通うことができる学校
○保護者・地域との連携を密にして、ともに協力する中で児童を育てる学校

4　目指す児童像

学校教育目標に掲げる「知」「徳」「体」、調和のとれた心身ともに健康な児童の育成を目指し今日的に学校教育目標をとらえ、非認知能力を向上させるとともに、以下の児童の育成を目指す。

○基礎的な知識と技能を身に付け、自分で考え、自信をもって行動する子
○思いやりの心や、協調したり感動したりする心をもつ、心豊かな子
○将来に向けて希望をもち､すすんで体を鍛え、たくましく自立できる子

5　目指す教師像

児童から、「安心できる教師」「話をしたくなる教師」「頼りにされる教師」
そのために、教師自身が学び続け成長し続ける教師、すすんでコミュニケーションをとる教師、仕事とプライベートをうまく分けられる教師を心掛ける。

6　学校経営の基本方針

本年度の学校経営は、「学習指導要領の理念実現」「コミュニティ・スクールの推進」「立川市民科の充実」、さらには、「学校教育重点目標の達成」の４つの視点を踏まえ、基本方針の具現化を図っていく。その際、我々教職員一人一人が、カリキュラム・マネジメント力を高めつつ、教科等横断的な視点に立った教育活動の創意工夫に努めるとともに、教職員の職務遂行を通した自己実現に繋がる適材適所の校務分掌組織に基づき、各人それぞれの担当業務において取り組むべきことを明確にし、組織連携を密にして業務の落ちや重なりが無いようにするとともに、「働き方改革」を意識した効率的で実効性のある職務遂行とウェルビーイングの向上に努める。

7　教育目標を具現化するための取組

（１）　確かな学力を身に付けさせる学校

①　どの子にも分かる授業の工夫

授業の構造化（場の構造化･時間の構造化･視覚化･焦点化･共有化）や、ねらいを明確にしたスモールステップなどの指導、授業に集中しやすく見通しがもてる掲示物・板書の工夫、ICT の活用、学習用具の整理・整とんを全学級で実践し、どの子どもにも分かる喜びを味わわせる。児童の興味・関心を高め、自ら表現し、互いのよさから学び合う効果的な授業づくりを推進する。

②　反復学習、家庭学習、補充的学習の充実

反復学習や、放課後学習、補充的な学習に学習支援員を計画的に配置し、学習内容の確実な定着を図る。

③　本に親しむ子の育成

司書教諭や図書館補助員との連携を密にし、朝読書の時間の活用や読書感想文の取り組み、読書週間の充実、学校図書館の整備を進め、本から学ぶ楽しさを味わわせ、子どもの言葉を豊かにする。

（２） 健やかな体を育む学校

① 体力の向上

体育科の授業改善、毎学期の運動週間の実施「一校一取組運動」、体力の向上と運動の楽しさを味わわせる。

② 運動への関心・意欲の向上

体育科授業の指導力向上により、運動への関心・意欲の向上と運動の習慣化を図る。

③ 基本的生活習慣の定着

早寝早起き･朝ご飯など、健康な心と体を育む基本的生活習慣について啓発し、感染症からの予防とともに保護者と連携して望ましい生活習慣の定着を図る。

（３） 特別支援教育の理念を踏まえ個を伸ばす学校

① 相談活動の充実

特別支援全体会、校内委員会を定期的に開催し、通常の学級で特別な支援を必要とする児童についての相談や、外部相談機関、医療機関への連携・接続等の検討を行う。

また、スクールカウンセラー（ＳＣ）やスクールソーシャルワーカー（ＳＳW)、巡回相談等を活用し、専門的な視点での助言を指導に生かす。

② 支援計画に基づく計画的な特別支援教育の実施

就学支援シートを受領した児童をはじめ、支援が必要な児童への学校生活支援シート、個別指導計画を作成し、学校と家庭で学期ごとに目標と手だてを共有しながら、個に応じた指導の充実を図る。

（４） 豊かな心を育む学校

① どの子にも分かる、守れる生活ルールの指導の徹底

学校のきまりを守る大切さについて、教職員全員で統一した指導を行い、月ごとの重点目標による指導の徹底や毎学期の児童の振り返り等により定着させる。

② 明るく元気な挨拶と優しい言葉遣いの推進・よりよい人間関係を育てる学級づくり

すすんで挨拶ができる指導や、チクチク言葉でなくフワフワ言葉を使う指導を推進する。自他を尊重する心情と態度を養うとともに、良好な人間関係を育てる学級づくりを推進する。

③ いじめ、不登校等の課題への即時・早期・組織的対応の実施

いじめは絶対に許さないという強い信念で組織的に未然防止、早期発見、早期解決に努めるとともに、継続した対応にあたる。

また、不登校は、長期化する前に保護者と積極的に連携し、SC・ＳＳWによる継続的な支援も活用しながら、未然防止と早期解消に努める。

（５） 地域とともに子どもを育む学校

① どの子も活躍できる体験活動（伝統文化理解教育等）の充実

「立川市民科」を中心に、地域を基にした学習、キャリア教育、食育とともに、地域資源を活用した伝統文化理解教育等を進め、学校や地域への理解と愛着を深める。

② 考え、議論する道徳の指導の工夫

「特別の教科　道徳」の年間指導計画に基づき、問いを工夫した道徳授業や児童の振り返りを蓄積した学習記録を基に、学校の教育活動全体で児童の道徳的な心情や実践的な意欲・態度を養う。

道徳教育推進教師を中心とした指導体制により、学校、家庭、地域が協働して「心の教育」を推進する。

（６） つながりのある学校

① 幼稚園、保育園、中学校区の連携強化

幼稚園や保育園との交流会や小中連携教育、近隣小学校との連携活動を通して、学習面･生活面で共通の課題の把握や改善のための取組を進める。小中連携活動や、合同研修会等を実施して、指導方法や指導内容の連携を推進する。

また、「立川夢・未来ノート」を活用した指導を行い、自分の生き方についての考えを深め、主体的に社会とかかわる意欲や態度を育てる。

② 学校生活の積極的な情報発信

学校だより・学年だより等の充実を図り、教育活動の様子をデータ化を進めながら積極的に広報する。学校ホームページの積極的な更新と内容の充実等により、学校の指導方針や児童の成長の様子を分かりやすく発信し、保護者・地域との連携強化を図る。